

# 妖怪の孫

緊急リバイバル上映！  
何も終わっていない  
全てがここにあった  
「パンドラの箱」再び

日本映画ペンクラブ賞  
文化映画部門  
2023年 BEST 1

企画：河村光庸 監督：内山雄人 企画プロデューサー：古賀茂明  
ナレーター：古龍寛治 音楽：岩代太郎 アニメーション：へんびねこ  
2023年 日本映画 カラー/ビスタ/ステレオ  
製作：「妖怪の孫」製作委員会 制作：テレビマンユニオン 配給：スターサンズ  
©2023「妖怪の孫」製作委員会

[youkai-mago.jp](http://youkai-mago.jp)

日本アカデミー賞「新聞記者」

スターサンズ × 『パンケーキを毒見する』

日本の真の影に切り込む政治ミステリー劇場

菅前総理の政治バラエティ



全てがここにあった。新たに「今問われるべき負のレガシー」をオープニングに追加！

様々な関係者からの衝撃的な証言や風刺絵本とともに、マスメディアが描くことを避けて来た、安倍政治を「今まさに」徹底検証する！

歴代最長の在任期間となった故安倍晋三元総理。タカ派的な外交政策と“アベノミクス”に代表される経済政策を行い、高い人気を誇った半面、物議を醸す言動やスキャンダルの絶えない人物だった。長期政権下、日本は分断と格差が広がり、選挙に勝てば問題も疑惑も忘れ去られるという悪習が政治に根付いてしまった。

# 安倍晋三 と いったい は 何 者 で あった の か。 この 国 に 遺 した も の は 何 だった の か

「昭和の妖怪」と呼ばれた母方の祖父・岸信介(元総理)。幼心に「祖父の教え」として刷り込まれた野望を実現しようとした政治姿勢と、その背景にある血縁の秘密。妖怪の魔の手は、いかなる嘘や不正さへも諦めで満ち、政官の倫理観を地に墮とした。その結果としての黒塗りや改竄の蔓延。それは、いつの間にか日本国民の心にさえも忍び込んでいた。

なぜ、安倍政権は選挙に強かったのか？  
何が多くの国民を惹きつけたのか？アベノミクス失敗の先に見えるさらなる日本経済の凋落、政治と行政のモラルの低下、そして戦争ができる国になろうとしているニッポンの本当の姿、その根本にあるものを紐解いていく。安倍元首相やその背景を改めて検証することで、今の自民党や政権が果たしてどこに向かおうとしているのかを、見極めようではありませんか？

果たして、憂うべきニッポンを妖術から  
解き放つことは出来るのだろうか？

## 妖怪の孫

企画：河村光庸 監修：内山慶人 企画プロデュース：ササケナレター、古賀龍治 出演：岩代太郎、菅原謙、古賀龍治、2023年「日本の未来」カラー、アニメーション：べんじゅく 製作：「妖怪の孫」制作委員会 制作：テレビマンユニオン ©2023「妖怪の孫」制作委員会 制作：テレビマンユニオン 配給：スターサウンズ

[youkai-mago.jp](http://youkai-mago.jp)